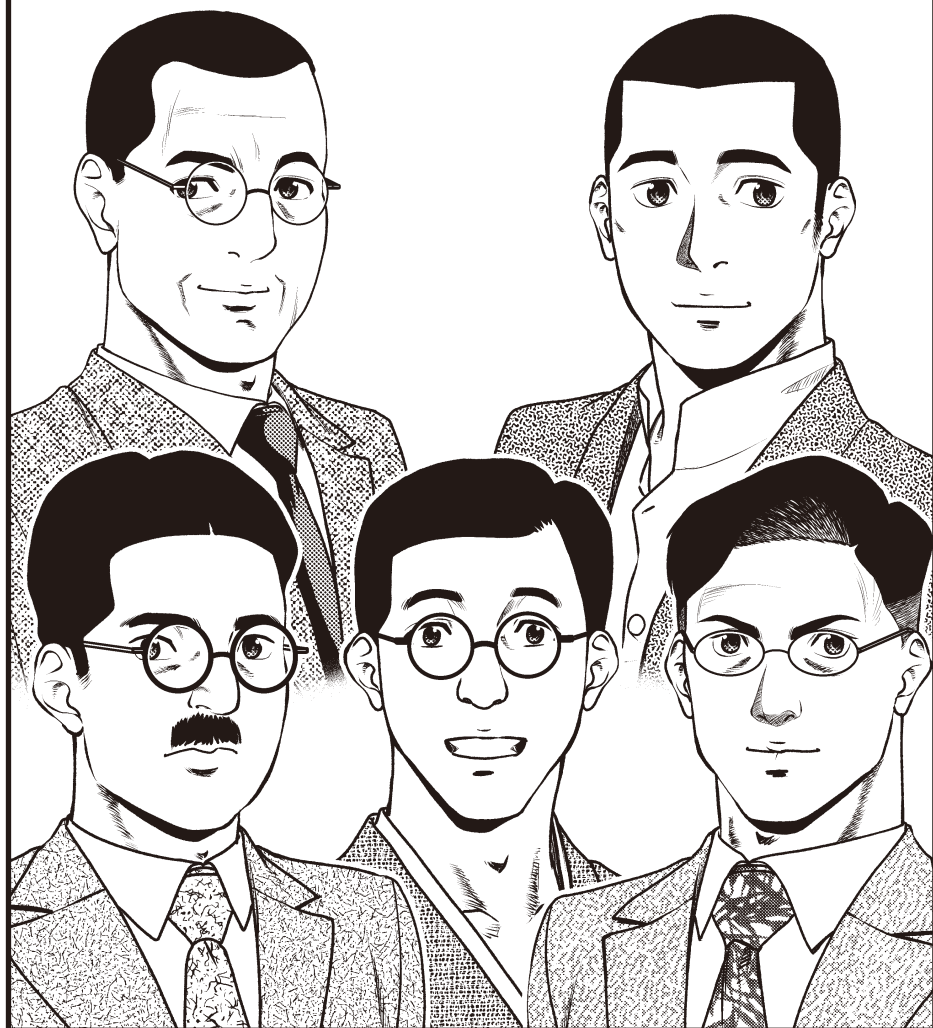


第3章

女性の職業人育成

女子教育に新たな学びの場

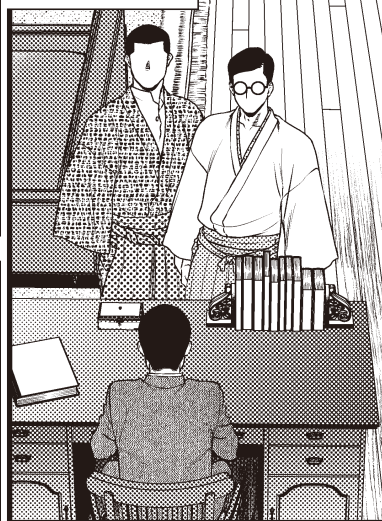


社会問題研究会の
創立10周年の
記念事業に

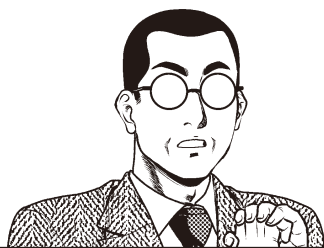
教育事業を思い立った
小野と阪本は
馬田の元へ来ていた

教育事業を
やらせて
ください

特に女子への
教育が今後は
大切だと思ってます



なぜ女子教育
なのでしょう？



これからもっと
日本は国際化に
向かっていきます
海外では
優秀な女性が
活躍していると
聞きます

それなのに
日本はまだ
女子に対する
就業意識が
低いからです



そうですね

それは
同意します

将来活躍できる
女性を増やすため
教育の場をつくる
べきです！

それと…

私には姉が
おりましたが
亡くなりました

姉とはかつて一緒に
学校設立を夢みて
いたのです

女子にも教育を
受けさせたいと
学校設立が
悲願であったので
あります…

そうですか

その遺志は
継いでいくべきです

社会問題研究会は
「日蓮主義」に
基づいて

社会・保育・
教育事業を
計画しています

その原動力は
「日蓮教学の
実践性」です

仏典や訓話のみでは
不十分と判断し
社会の動きに合わせて
柔軟に対応する
実行力が必要でした

それを
君たちのような
若者が率先して
発言してくれるのは
嬉しい

おおいに
やりましょう
援助します

ありがとう
ございます！

立正大学
社会問題研究会
会議中



今日は
セツルメント※で
何をすべきか
具体的な案を
出したい

さいかわじゅんこう
斎川純行
立正大学主事

※セツルメントとは
資本主義が生み出す貧困に対して宗教家や学生が都市の貧困地区に
自ら居住して宿泊所・託児所・教育・医療活動などの社会事業を行う活動



そんな
小さな頃から教育に
触れられるのも
おおいに役立つだろう

母親からすれば
まだ手がかかる
子どもを預けられるし

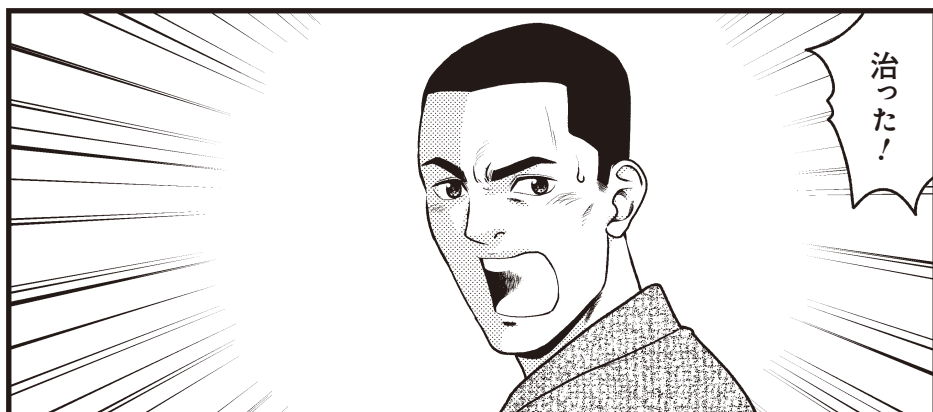
幼稚園は
どうだろう？



貧困のシワ寄せは
全部 女性や子どもだ

そこに直接
助けになる
活動がいい

託児所か
学校か？



幼稚園設立に
向けて

馬田・小野
阪本に加え

小野法(光洋)

阪本泰護

斎川純行

遠山潮徳

馬田行啓

遠山潮徳
斎川純行らが
中心の
メンバーとなる

もつと
いろんな人から
理解と協力を
得られればと
思います

実際に女性にも
話を聞きたい
ですね！

ふむ

では
日蓮主義普及会
立正婦人会に
相談してこよう

今後日本は
女性の社会進出を
拡大し

女性の職種は
増えていく
でしょう

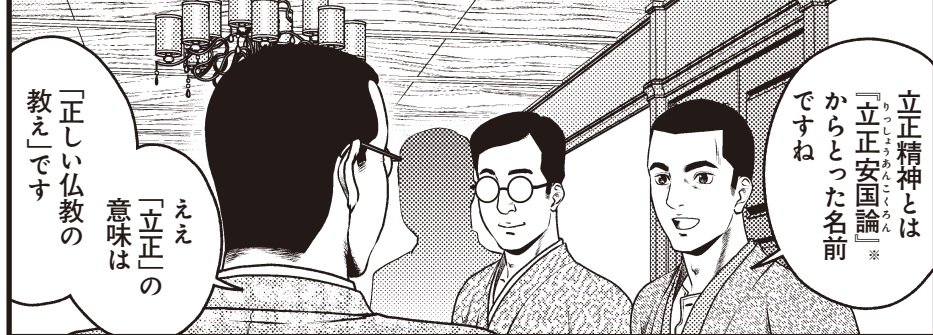
それには
教育機会の
均等をめざして

女子教育を
私たちが
やるべき
なんです

立正婦人会



※日蓮によって体得せられた法華經の精神で、人間性の絶対的尊厳と、その無限の発展性とを確信し、理想社会の実現をめざすこと



※1260年 日蓮が当時の鎌倉幕府執権北条時頼に提出した法華經の精神に帰することにより国家を安泰にしようと提言した書



※この日をもって文教大学学園の創立記念日とされている



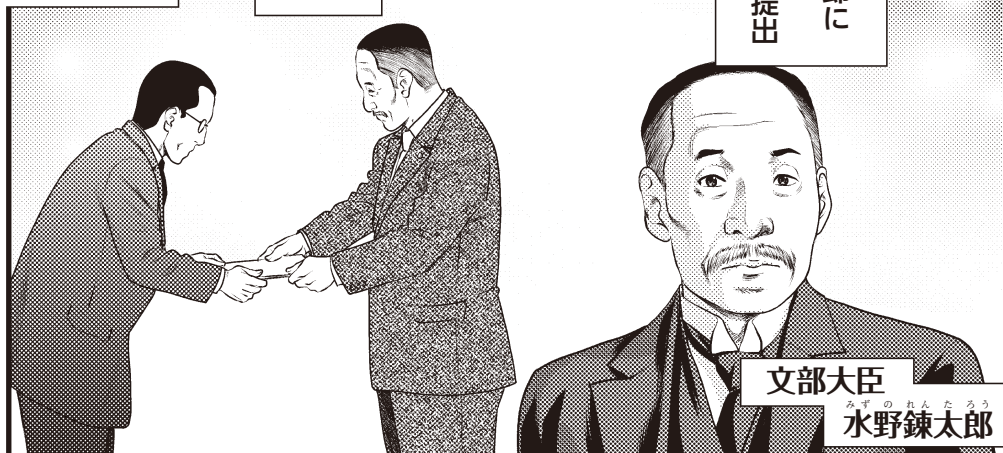
1927(昭和2)年
12月27日 馬田は

文部大臣水野錬太郎に
「立正女子職業学校
設立認可申請書」を提出

定員は
本科一部200名
本科二部150名
裁縫科100名の
合計450名とし

桐ヶ谷(現・東京都
品川区大崎)に
設置すること

实际的に
女性の自立をうながす
職業訓練を意図して
設立された



翌年
小野30歳
立正大学文学部
哲学科を卒業する

卒業後は
この学校の運営と
さらなる飛躍に
努めたいと
思います

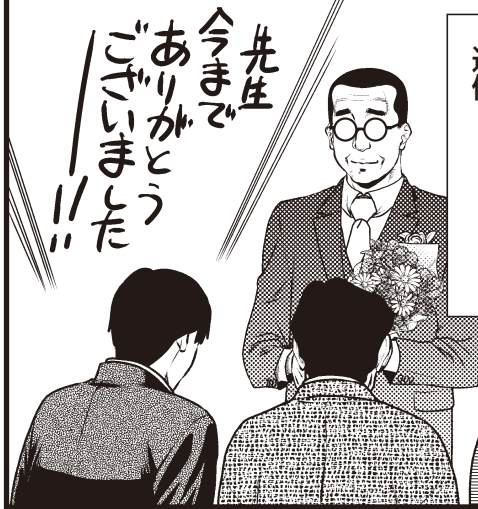
改めてよろしく
お願いします

お互い力を
合わせましょう
私も尽くします

1928(昭和3)年
財団法人立正学園設立
馬田は立正学園理事長に
就任する



1929(昭和4)年
馬田は
立正大学の教授を
退任



先生
今まで
ありがとう
ございました
!!

改名
光洋

小野は
光洋と改名

同年立正学園を
旗ヶ岡(現・東京都
品川区旗の台)に移転

翌年には
立正女子職業学校が
立正学園女学校と改称



1932(昭和7)年
立正学園高等女学校と
立正学園実科女学校の
設置が認可され
馬田が校長となる

従来の
立正学園女学校は
立正学園
高等家政女学校に
改称された

小野も
立正学園
高等家政女学校
立正学園
高等女学校の
教頭に就任

財団法人設立から
わずか4年という
短期間に
女学校3校※

教 頭

※1935(昭和10)年公布の青年学校令により、翌年立正学園実科女学校廃止

幼稚園も含めると
4校の教育機関を
設置したことに
なる

その後発展する
総合学園の姿は
ここを起源とする

あつという間の
4年でした

馬田家

これも馬田先生が
方々に掛け合い

あつという間に
話をつけて
くださったからです

みんなで
協力して
きたからですよ

それこそ
小野くんの
言葉がなかったら
ここまで
これなかった
かもしれない

これから
立正学園は
もっと成長
するでしょう

必ず女性が
社会進出する
時代になります

我々は学校で
女子に知識や技能を
習得させ職業人を
育成しましょう

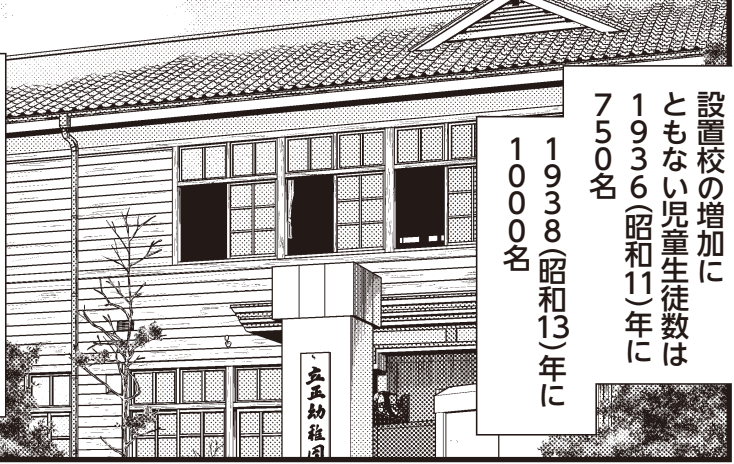
はい！

設置校の増加に
ともない児童生徒数は
1936(昭和11)年に
750名

1938(昭和13)年に
1000名

1940(昭和15)年には
1250名と増加していく

しかし
すべて順調だった
わけではない

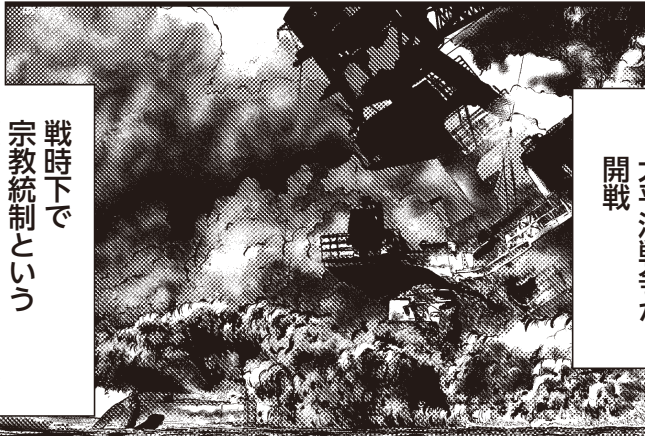


1941(昭和16)年
馬田の
日蓮宗宗務総監就任後

太平洋戦争が
開戦

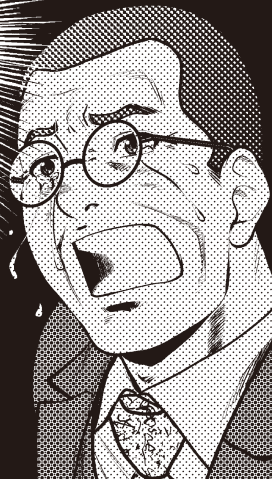
戦時下で
宗教統制という
圧力のかかったなかで

苦渋の選択を
強いられながら
宗門存続と学校を
守るため



再び東奔西走の
多忙な日々
明け暮れた

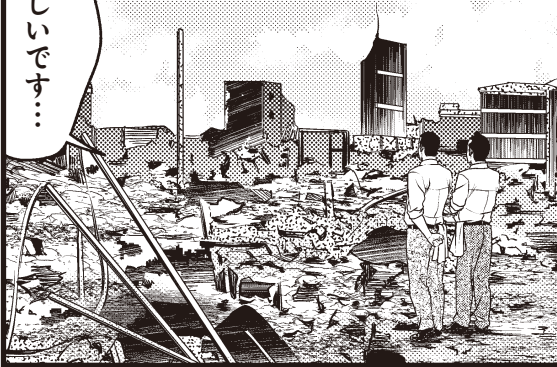
私たち
一人ひとりの生命は
かけがえないもので
何ものにも代え難く
大切なもののなに…
戦争なんて
早く終わればいい



1945(昭和20)年
終戦となるが
約2000名いた
児童生徒は疎開で
バラバラに

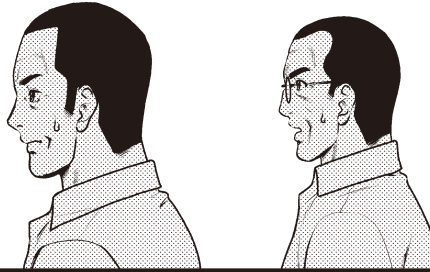
校地は2000坪に
拡大していたが
東京大空襲により
校舎の90%を
焼失してしまう

悔しいです…



がんばって
早く子どもたちが
戻ってこられる
ようにしよう

そうですね…



設立から拡大まで
短期間だっただけに
喪失感も大きいなか…

病院

先生!!

ガラッ

1945(昭和20)年
12月17日

馬田先生…



馬田行啓死去
60歳だった

突然の
別れだった

馬田先生の功績は
あまりに大きい：

学校設立という
実際の形となる
ものから

立正精神を
教えてくださった

人間性の絶対的尊厳と
その無限の発展性とを
確信し：

ただ一心不乱に働き
未来の浄土でなく
今この場を：

この理想の
信念を貫いた
馬田先生の精神を
絶やしては
いけない

がんばろうー